

第3回 建設キャリアアップシステムの構築に向けた官民コンソーシアム

議事概要

日時：平成28年12月21日（水）14：30～16：30

場所：三田共用会議所（3階 大会議室）

○冒頭挨拶

野城座長より、本システムが業界全体に広く普及することで技能労働者の処遇をはじめとした建設業界の諸課題の解決に繋がることを期待する主旨の挨拶があった。

また、谷脇土地・建設産業局長より、本日のコンソーシアムを通じて、本システムの稼働に向けて、「検討」から「実行」のステージに進めるべく、活発な議論を期待する主旨の挨拶があった。

○委員からの主な意見

- ・利用者の費用負担が、技能者や事業者にとって過度にならぬよう配慮すべき。
- ・運用費を極力抑える工夫が必要である。
- ・全国で説明会等を開催し、業界の理解を進めるべき。また、メリット等の分かりやすい説明が必要である。
- ・システム運用後、職人の困り込みなどによって、地方の元下関係に混乱が生じないように国土交通省のチェックが必要ではないか。
- ・技能者の処遇改善には民間工事発注者の理解が必要であり、公共工事と同等の処遇が受けられるよう国土交通省から働き掛けをしてほしい。
- ・技能者の評価基準が公平で客観的なものとなるよう、今後検討してほしい。
- ・システム開発は、あまり拙速に進めると問題が生じかねない。試行期間も用意し、安全を確認して進めるべき。

○合意事項

- ・本システムの要件、調達の仕様、評価基準及び評価体制
- ・本システムの運営主体を（一財）建設業振興基金とし、今後、システムの開発や資金の確保などの準備行為に着手すること
- ・本システムの具体的な運営方針を決定するため、本コンソーシアムを改組し、新しい体制を立ち上げること

○閉会挨拶

野城座長より、コンソーシアムが改組され、新たな体制となるが、今後も業界全体が一丸となり、システムの目的の一つである若者の入職促進がなされることを期待する主旨の挨拶があった。

谷脇土地・建設産業局長より、本日の合意に基づき、今後の新たな運営体制においては国土交通省が先頭に立ってシステムの普及や円滑な運営に取り組む旨、また関係者に対し、本システムの構築に向けた引き続きの協力を依頼した。